風水害情報を入手する

情報を正しく理解し、早めの避難行動に役立てましょう。

●警戒レベル

住民がとるべき行動を直感的にお知らせするために5段階の警戒レベルとともに避難情報等が提供されます。避難情報に留意するとともに、避難情報等が発令されていなくとも防災気象情報等を用い、自ら避難の判断をしてください。

＜避難情報等＞			警戒レベルに相当する＜防災気象情報＞
警戒レベル	住民がとるべき行動	「避難情報」と町の対応	
警戒レベル5	**命の危険　直ちに安全確保！** ・災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況。 ・命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保する。	「緊急安全確保」 （災害の状況に応じ、必ず発令される情報ではない）	警戒レベル5相当情報 ・氾濫発生情報（阿久比川） ・大雨特別警報　等
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞			
警戒レベル4	**危険な場所から全員避難** ・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予測される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	「避難指示」 第3非常配備 （全職員の体制）	警戒レベル4相当情報 ・氾濫危険情報（阿久比川） ・土砂災害警戒情報 ・高潮（特別）警報 ・キキクル（極めて危険※・非常に危険）
警戒レベル3	**危険な場所から高齢者等は避難** 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	「高齢者等避難」 第2非常配備 （準備体制） （災害対策本部の設置）	警戒レベル3相当情報 ・氾濫警戒情報（阿久比川） ・大雨警報　・洪水警報 ・高潮警報に切り替える可能性が高い注意報 ・キキクル（警戒）
警戒レベル2	**自らの避難行動を確認** ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第1非常配備 （高齢者等避難の発令を判断できる体制）	警戒レベル2相当情報 ・氾濫注意情報（阿久比川） ・大雨注意報　・洪水注意報 ・高潮注意報 ・キキクル（注意）
警戒レベル1	**災害への心構えを高める**	職員の連絡体制を確認し、心構えを一段高める	警戒レベル1相当情報 ・早期注意情報（警報級の可能性）

※「極めて危険」は、ここまでに避難を完了しておく必要があり、大雨特別警報発表後の警戒レベル5「緊急安全確保」の発令対象区域の絞り込みに活用を想定しています。

●3つのキキクル（危険度分布）

警報発表時や豪雨時などに、どの場所で土砂災害、浸水害、洪水災害の危機が迫っているかを、地図上で確認できる気象庁のサービスです。（災害発生の危険度を5段階に色分けし、予測を表示します。）

土砂キキクル

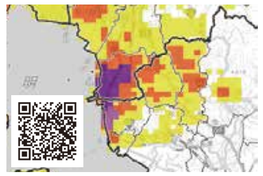
大雨警報（土砂災害）の危険度分布

2時間先までの予測

高 ■極めて危険
危険度 ■非常に危険 【警戒レベル4相当】
■警戒 【警戒レベル3相当】
■注意 【警戒レベル2相当】
低 □今後の情報等に留意

浸水キキクル

大雨警報（浸水害）の危険度分布



1時間先までの予測

高 ■極めて危険
危険度 ■非常に危険
■警戒
■注意
低 □今後の情報等に留意

洪水キキクル

洪水警報の危険度分布

3時間先までの予測

高 ■極めて危険
危険度 ■非常に危険 【警戒レベル4相当】
■警戒 【警戒レベル3相当】
■注意 【警戒レベル2相当】
低 ■今後の情報等に留意

（ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集）

気象庁　キキクル　検索

●現在の川の水位はどのくらい？ 川の防災情報

阿久比町の雨量や、阿久比川の水位と氾濫の危険性をお知らせする愛知県のホームページです。

愛知県　川の防災情報　検索

■観測所

観測局情報				
雨量	観測所名	阿久比（役場庁舎屋上）	所在地	知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50番地
水位	観測所名	宮津（阿久比川）	所在地	知多郡阿久比町大字椋岡字高田300番地先

河川の基準水位

愛知県「みずから守る防災情報メール」

阿久比川が上記の基準水位に達した場合など、風水害情報をお知らせする愛知県の登録制メール配信サービスです。

河川監視カメラ

町では、町内を流れる河川による災害から町民の皆さんの命を守ることを目的とし、河川水位を監視するカメラを設置しています。
町ホームページやアグナビでリアルタイム映像を見ることができます。

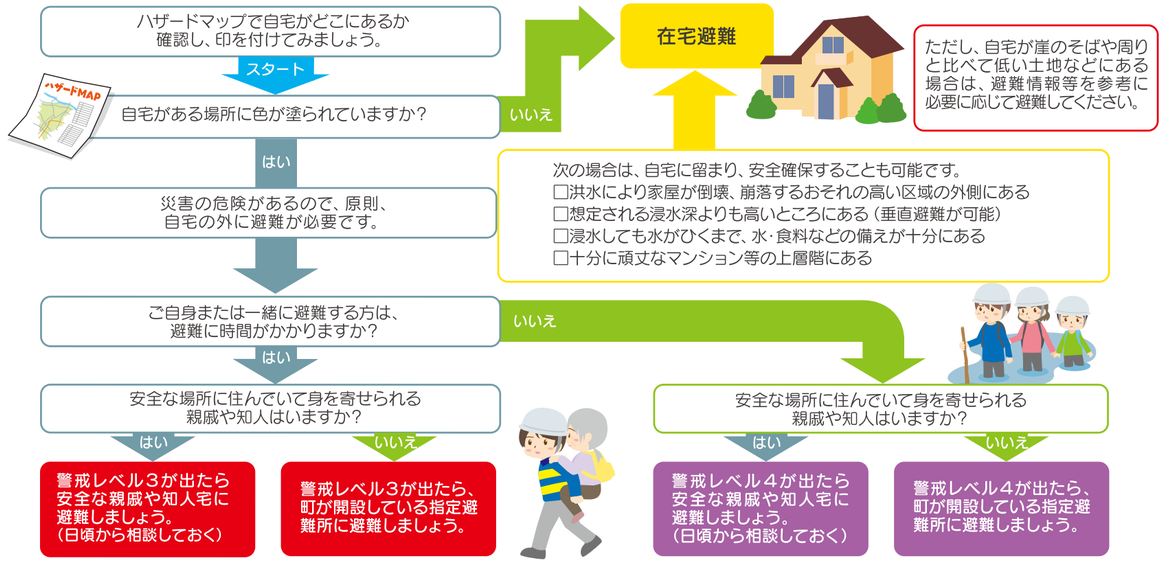
阿久比町　河川監視カメラ　検索

避難するタイミングの判断

「自らの命は自らが守る」の意識を持ち、災害リスクとるべき行動を平常時より確認しておきましょう。

避難行動判定フローと分散避難

災害時は、命を守るために避難が必要ですが、一方で、感染症対策も必要です。
様々な避難先を検討（分散避難）し、最良な避難を考えておきましょう。

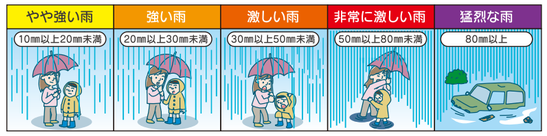


※親戚や知人宅への避難（縁故避難）のほか、災害のおそれの少ない町外の宿泊施設への避難（ホテル避難）など、早めの広域避難も有効です。
※ハザードマップは、災害のおそれの高い区域を着色しています。着色のないところでも災害が起こる可能性があります。

●雨や風、台風の強さ、線状降水帯を知っておきましょう

雨の強さと降り方（1時間雨量：mm）

10mm以上20mm未満 … ザーザーと降る雨。雨の音で話し声が聞き取りにくい。
20mm以上30mm未満 … どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。
30mm以上50mm未満 … バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。
50mm以上80mm未満 … 滝のように降る。傘は全く役に立たなくなる。
80mm以上 … 水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。
（東海豪雨の時間雨量は93mm）



風の強さと吹き方（平均風速：m/秒）

10m以上15m/秒未満 … 風に向かって歩きにくくなる。樹木全体が揺れ始める。
15m以上20m/秒未満 … 風に向かって歩くことが困難。電線が鳴り始める。
20m以上25m/秒未満 … 何かにつかまっていないと立っていられない。瓦などが飛散するものがある。
25m以上30m/秒未満 … 立っていられない。樹木が倒れることがある。
30m/秒以上 … 屋外での行動は極めて危険。走行中のトラックが横転する。

線状降水帯

連続で発生した雨雲（積乱雲）の集合体が、上空の風に流され、長い線のように広がる現象。数時間にわたり、ほぼ同じ場所で非常に激しい雨を降らせ続け、大きな被害をもたらすことがあります。

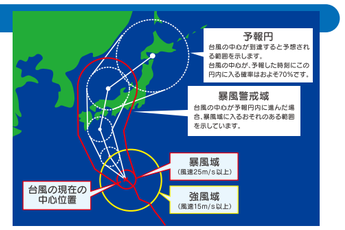
警戒レベル4相当以上の状況で、気象庁が「顕著な大雨に関する情報」として発表します。

詳細（気象庁による説明ページ）はこちら→

台風の大きさと強さ

●台風の大きさ（風速15m/秒以上の半径）
500km未満 … 大きさの表現なし
500km以上800km未満 … 大型（大きい）
800km以上 … 超大型（非常に大きい）

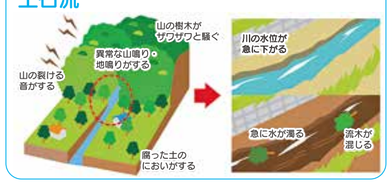
●台風の強さ（最大風速：m/秒）
33m/秒未満 … 強さの表現なし
33m/秒以上44m/秒未満 … 強い
44m/秒以上54m/秒未満 … 非常に強い
54m/秒以上 … 猛烈な



●土砂災害の前兆現象

がけ崩れ

土石流



地すべり

※上記の前兆現象は、必ず起きるものではありません。少しでも身に危険を感じたら避難しましょう。